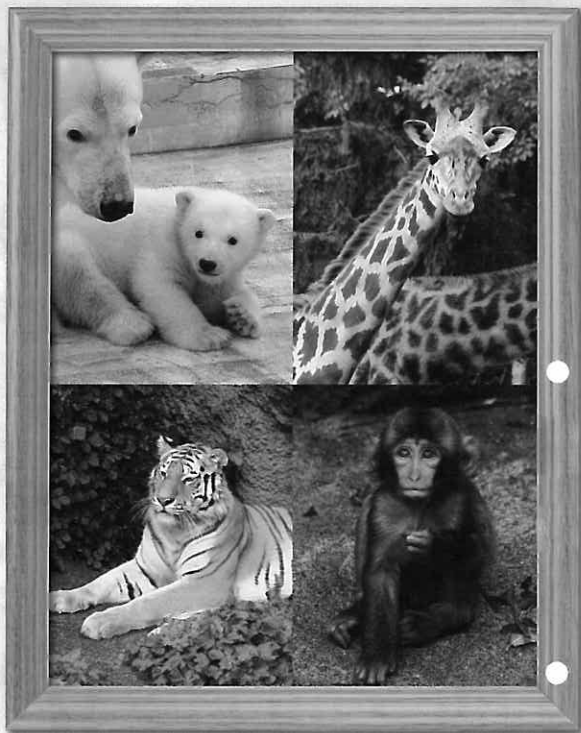


市議会だより



円山動物園

平成18年第3回札幌市議会定例会終わる

- 第3回定例会
- 平成17年度各会計決算を認定 p.2
- 平成18年度一般会計補正予算などを可決 p.3
- 北朝鮮の地下核実験に抗議する決議などを可決 p.4
- 代表質問から p.5

その他
市議会タイムマシーン p.12



しぎがいくん

さっぽろ市議会だより No.72 平成18年(2006年)11月発行

平成18年第4回定例会 審議日程(予定)

下表のとおり、11月28日から12月13日までの会期16日間で開かれ、各会派の代表質問は12月5日から3日間の予定です。

月 日	審 議 日 程
11月28日(火)	※本会議 (招集日)提案説明など
12月5日(火)	※本会議 代表質問
6日(水)	※本会議 代表質問
7日(木)	※本会議 代表質問、議案付託
11日(月)	(休会) (常任委員会)
13日(水)	※本会議 (最終日)

※インターネットによるLIVE中継を予定しています。

審議日程の詳細については、議会事務局または市コールセンターにお問い合わせください。

札幌市議会事務局総務課
☎011-211-3162 Fax 011-218-5143
札幌市コールセンター
☎011-222-4894(つーじーるしやくしょ)

トビックス・会議を傍聴してみませんか



本会議や委員会など、さまざまな傍聴することができます。本会議の傍聴席は市役所本庁舎18階です。委員会会議室は、16階と18階にあります。また、聴覚に障がいのある方を対象に、本会議の傍聴に手話通訳者を無料で配置します。傍聴予約の1週間前までに、①申請者の住所・氏名・アクセスまたは電話番号、②傍聴日時、③団体の場合は人数をアクセスまたは電話で、「」連絡ください。

お問い合わせ先 議会事務局総務課

市議会タイムマシーン

ここでは、大正11年開府以来の市議会の歩みを紹介しています。今回は第1期市議会です。

第1期

(昭和54年5月2日・昭和58年5月1日・定数68人)
封鎖された本会議場



4札幌・帯広友好都市調印式
(昭和56年11月)
これを前に、帯広市と札幌市が友好都市の交流を活性化しました。



この期の主な出来事

- 東京サミット開催 (昭和54年6月)
- 神戸市の人口を抜き、全国6番目の都市に (昭和64年11月)
- 青少年科学館開館 (昭和58年10月)

編集・発行 札幌市議会事務局

☎011(211)3162
☎011(218)5143



POWER WITH SOY INK

POWER WITH SOY INK



しぎがいくん

さっぽろ市議会ホームページアドレス
<http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

平成17年度各会計決算を認定



平成18年第3回定例会は、9月20日から10月26日までの37日間開かれました。

代表質問は9月26日から3日間行われ、6人の議員がそれぞれ会派を代表して、提出された議案と市政に関する諸問題について質問しました。

また、平成17年度決算にかかわる議案については、第一部・第二部決算特別委員会で、それぞれ9日間にわたり審査されました。

最終日までに、議案32件、意見書案12件、決議案2件が全会一致または賛成多数で認定、可決、同意され、人権擁護委員候補者推薦に関する件が、全会一致で推薦することが適当と認められました。

市長提案説明から

各会計とも予算に計上した事業につき 前期の目的を達成

平成17年度は、「なごほろ元気」ジョーに掲げる「市民の力をまねる」文化と誇りをあかせる街」の実現に向けた施策の成果を市民に実感してもらいたいとするために、「仲手人」への延伸し、変えるべきものは思い切つて変える」という基本方針に基づき、「財政構造改善事業」に基づく人事務事業の見直しが可能に限り前倒しして進めました。

また、「新さっぽろ計画」に掲げる「元気な経済が生まれ、安心して働ける街づくり」は、「誰かが担ってくれる街づくり」から、「市民が活躍の環境の街づくり」へ、「芸術文化、スポーツを発信する街づくり」へ、「何かなんか創造性あふれる人を育て街づくり」という3つの基本目標に沿って、積極的に予算を計上しました。

この予算の執行は「とり入り収入」

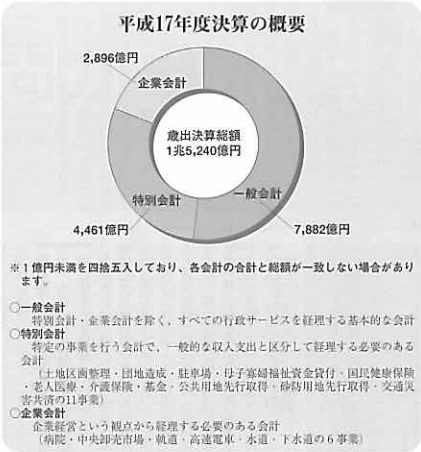


札幌市長 上田 文雄

おいては、収納率の向上を図るとともに、可能な限り早期収入と増収に努め、支出においては、他部門や他団体にの連携を深めると、職員一人一人の創意工夫を努力により、効率の上がった合理的な分納で経費の削減に努めてきました。

この結果、各会計とも、予算に計上した事業について、ほぼ前期の目的を達成できていたことが考えられます。

しかしながら、札幌市の財政は、極めて厳しい状況が続いています。今後も引き続き徹底的な節減努力によるコストの縮減、行政の事務領域や行政サービスの起り手の見直しを行うなど、財政構造改革プランの考え方や方向性を踏まえながら、さらに抜本的な見直しに加え、具体的な取り組みを更新、充実していく必要があると認識しています。



可決された 主な議案

- 1 設計補正予算 次の内容で総額4億6,011,616円、千円を補正するものです。
 - ① 国庫用地重要文庫「八雲館」の復旧に対する経費および遊歩橋と障害者用支援法の制下にあるコンクリート改修のための経費不足が生じ、見込みと違った法人市民税の還付金

- 2 札幌市自治基本条例案 市民自治を推進し、市民の権利を保障することを目的として、本市のありかたについて、基本理念・基本原則や仕組みなどの基本的事項を定めるものとする。
- 3 札幌市自治基本条例案 学校の解体工事に際する経費および償債負担行為の事項、限度額の引き上げ、国民健康保険料の補正に伴う繰上金の追加
- 4 東白川中学校、羊平中学校の解体工事に際する経費および償債負担行為の事項、限度額の引き上げ、国民健康保険料の補正に伴う繰上金の追加

可決された 意見書案・決議案

井ノ上から書状への依頼者通称制度の立法化に反対する意見書
政府は、「アロ」の未然防止に関する行動計画を策定し、井ノ上に対して、一定の取組について、疑わしい取引を警察庁に通報する義務および通報の事実を依頼者に秘匿する義務を課す法律の立法化を進めていく。通報義務が課せられることになれば、同法そのものの崩壊を招くこととなる。よって、井ノ上士から書状への通報制度を導入しないよう国および政府に要望するものである。

経済社会の構造改革における都市基盤整備財源の充実強化を求める意見書
都市基盤整備の整備に当たっては、住居との協働をしながら進めていくことが求められている。よって、国および政府は二次的のことを要望する。①都市基盤整備の整備を効率的かつ重点的に推進する。②地域の実情を十分に勘案し、長期にわたって立つた計画の整備の推進を図る。③街の着実な整備の促進に必要な予算が確保されるよう努むる。

生活保護制度に関する意見書

政府は「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」において、生活保護制度を早急に見直す方針を示した。しかし、拙速な実施は生活保護制度の本質を逸脱するものである。①経済財政運営と構造改革の下に生活保護制度を後戻りさせることなく、憲法に明記された生活保護の趣意を踏まえて、②在り方や社会保障制度全般との連関性を十分に勘案し水準を確保する。③政府に要望するものである。

肝炎対策を求める意見書

B型肝炎ウイルス感染被害者の早急な救済および感染拡大防止などの対策を講じるべきである。よって、国および政府に次のことを要望する。①早期発見・治療のためのウイルス検査体制の拡充と検査費用の負担軽減。②ウイルス性肝炎の治療体制の整備。治療の地域格差の解消。③ウイルス性肝炎治療の医療費補助および治療者の生活支援策の実施。④肝炎への偏見・差別を取り除くための正しい知識の普及と啓発。

障がい者福祉制度の充実に関する意見書

本年4月1日、障害者自立支援法」が施行され、身体的、知的、精神

民主党・市民連合 恩村 一郎 議員

〇回魂時代の社会貢献

恩村 一郎

■問 最近、2007年問題と言われる大規模な問題話題を呼んでいる。過渡期に当たる80歳前後の人々はこれを契機に人生の新たな設計図を描く時期と言われている。内閣府の平成16年生活白書にも、「老年を迎える男性」「女性からの子供、考えを奪われた」「地域の社会のため何かに立ちたい」「新しい項目で」「新しい問題」「新しい目標」「新しい仲間」などの16.9%が女性で、14.0%の第二の人生を構想している。100人が掲げる夢となっている。

■答 「先日の回生生活白書には、「導引」を契機に活動を開始したい」と答えたのは、男性が88.9%、女性が28.9%と、男性が社会貢献活動を始める100の契機であることがうかがえる。しかし、社会貢献の意欲の高まりは、履修者もまだまだ少々の活動に参加する回魂の世代は少ないように感じているが、市長はどのように考えているか。

■答 2007年は、回魂の世代の大規模な始まり、仕事中の生活了大量の人が、地域に中心の時代とも呼ばれており、今後、まちづくりの若い手と力が入りに期待しているところである。

■問 「1」指指のとおり、100世代がまちづくりに参加する割合は現状にあるが、昨年実施した札幌市の「まちづくり活動への参加した」人が過半数を占め、社会貢献活動への高い参加意欲が示されている。今後、回魂の世代が持つ高い参加意欲を大いに生かす。その知識、経験などを思えばさらに発揮できるだろう。まちづくりセンターにおいて、地域ニーズにこまめにマッチさせる取り組みを構築していきたく考えているか。

■答 回魂の世代の高まる社会貢献のニーズを生かす、今後、どのようなまちづくり活動を開発していくかが、市長の考えを伺いたい。

公明党 涌井 国夫 議員

〇観光対策と新幹線札幌延伸

涌井 国夫

■問 国際観光の振興が、国際相互理解の推進や経済の活性化という観点から現在、国を挙げた重要な課題となっている。本年7月1日から10月にかけて北海道で初登場の「日中韓観光大交易会」が開催された。この会場の探訪は「日中韓三國間の観光交流と協力の強化に関する北海道宣言」とともに進んで「日中韓観光ビッグバン」(日中韓域外観光交流拡大計画)において、観光交流拡大に向けた具体的な方策や定めのされようか。

■答 札幌市ではこれまで、中国および韓国からの観光誘致を積極的に推進してきた。今後、まちづくりの若い手と力が入りに期待している。この中で協定案を

ついでに行っているのか伺いたい。

■答

外部指導者の積極的な導入や後援校の運動部活動の進捗に取り組みなど、部活動の活性化を図ってきたが、十分な解決はできていない。こうした状況を踏まえ、今後の運動部活動の在り方を整理し、対応策を講じていくには、運動部の課題である認識を踏まえて、このため、関係関係者代表、中体連、学校関係者および教育委員会事務局とから構成された「運動部活動の在り方検討委員会」を10月15日立ち上げた。



▲中学校の運動部活動は、外部指導者の導入など活性化が期待される

の中で、部活動を取り巻く現状や課題を詳細に分析し、部活動の方法や外部指導者の役割など、今後の運動部活動の在り方について考察して、改善していくべき課題を明らかにして、改めて取り組んでいく。

■問 具体的には、準備段階の支援として、必要に応じて活動の種類や参加の方法、必要ノウハウなど、随所随所に行き届いた適切な提供をどうやっていきたいと思いますか。また、へいり体育事業や実践講座を開催するなど、活動の継続を学ぶ機会を提供する。次、実践参加するための支援として、地域の身近なまちづくりセンターにおいて、活動団体やボランティア先を奨励するなど、回魂の世代と地域の協働の取り組みを行う。

〇防火対策と地域のまちづくり

涌井 国夫

■問 札幌市の放火火災は、16年連続して火災原因のリストとして連続して、年間火災件数の割合を占めるものがある。放火火災を防止することが重要である。消防団では、これまで以上に放火火災身近な問題として、防火防犯が主目的の行う新たな放火防止に向けた取り組みを始めた。この取り組みは、地域住民がカ

■答 1つ、それぞれ自身の回りの放火危険度を歩いて調査し、その結果から放火に対する弱点とその改善策を住民同士話し合うこと、昨年実行の的を行った「大発表」の取組をさらに進めること、取り組を推奨する市民の周りを広げること、取組を放火の防止だけでなく、現在進めている地域の特性を生かしたまちづくりの推進の観点から、市民主体で進める地域活動の輪を広げていくことであるが、今後の基本となる考え方を伺いたい。



▲地域ぐるみで行われている放火防止活動

■問 札幌市では、平成17年度から放火火災を抑制するため、「札幌市放火防止対策戦略計画」として新たな取り組みを推進している。具体的な取り組みは、地域の皆さんが主体的に放火防止活動を行うこと、現行のまちづくりをさらに進めること、今年度、札幌市、道庁、関係機関と連携して取り組むこと、今後、消防団を拡大すること、対面時間を拡大すること、

